

ケニア総選挙に向けた モンバサ・邦人安全対策連絡会

1. 開会
2. ご挨拶
3. 選挙治安情勢・安全対策の説明
4. 質疑・応答
5. 閉会

2017年7月8日(土)

誰が何に投票するか

1. 有権者：18歳以上のケニア国民1,961万人

(独立選挙委員会が6月27日発表)

2. 投票対象

- ① 大統領・副大統領
- ② 上院議員(地方自治を扱う)
- ③ 国民議会(下院)議員(国政を扱う)
- ④ 下院の女性代表
- ⑤ 郡知事・副郡知事
- ⑥ 郡議会議員

投票対象の内訳

1. 下院：350議席

(選挙区290, 女性代表47, 青年・障害者代表12＋議長1)

2. 上院：68議席

(郡代表47, 女性代表16, 青年・障害者代表4＋議長1)

3. 郡知事：47

4. 郡議会議員：1450＋

※赤字が選挙対象

ケニア総選挙に係わる今後の主要日程

☆ 5月28日～8月5日 候補者による選挙活動

☆ 8月8日 投票日

☆ 8月15日までに 公式結果発表

☆ 8月29日 新大統領就任式

(※ 9月12日にずれこむ可能性大)

2017年8月8日総選挙の概要

大統領選挙

下院(349議席)・上院(67議席)選挙

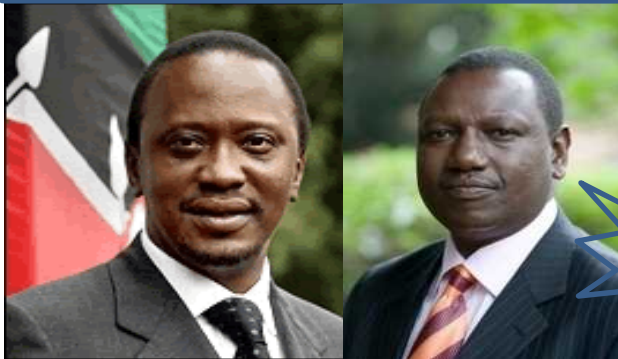
- 与党は、2016年9月に与党連合を解体し、新党ジュビリー党を設立、ケニヤッタ大統領再選に向けて結束。
 - 野党は、2017年1月に野党大連合(NASA)を設立。オディンガ ODM党首を統一大統領候補とすることを4月末に発表。
- 【大統領選見通し】6月24日及び25日に行われたInfotrak社による最新の世論調査によれば、ケニヤッタ大統領に対する支持率が**48%**、オディンガODM党首に対する支持率が**43%**となっている。

郡(47郡)知事選挙

郡議会議員選挙

- 前回2013年選挙では、郡知事の数で与党(20郡)よりも野党(27郡)勢力が上回った。
- 2013年に新設された同職は、予算に裏付けされた実質的権限があると判明したため、郡議会議員選挙と合わせて前回よりも白熱した選挙戦が予想される。

ジュビリー党(下院191・上院35議席)



ケニヤッタ大統領 (キクユ) ルト副大統領 (カレンジン)

VS

オディンガ大統領候補 (ルオ)
オレンジ民主運動(ODM)
(下院98・上院17議席)



ムショカ副大統領候補 (カンバ)
ワイパー民主運動(WDM)
(下院25・上院6議席)



ムダバディ首席長官候補 (ルイヤ)
アマニ国家議会(ANC)
(下院0・上院0議席)



ウェタングラ
副首席長官候補 (ルイヤ)
FORD-Kenya
(下院12・上院5議席)



アイザック・ルト
副主席長官候補 (カレンジン)
CCM
(下院0・上院0議席)

民族割合

キクユ: 22%
ルイヤ: 14%
カレンジン: 13%
ルオ: 11%
カンバ: 10%
その他: 30%

野党大連合 National Super Alliance (NASA)

(下院135・上院28議席)

※ケニア国民は基本的に同じ民族の出身者を支持

モンバサ郡知事選挙



スレイマン・シャバル
ジュビリー党



アリ・ハッサン・ジョホ
モンバサ郡知事
ODM
(ミジケンダ)



ハッサン・オマル
モンバサ郡上院議員
ワイパー民主運動
(カンバ)

Distribution of ethnic groups

Ethnic groups

Kikuyu/Meru 22%

Luhya 14%

Kalenjin 13%

Luo 11%

Kamba 10%

Kenyan Somali 6%

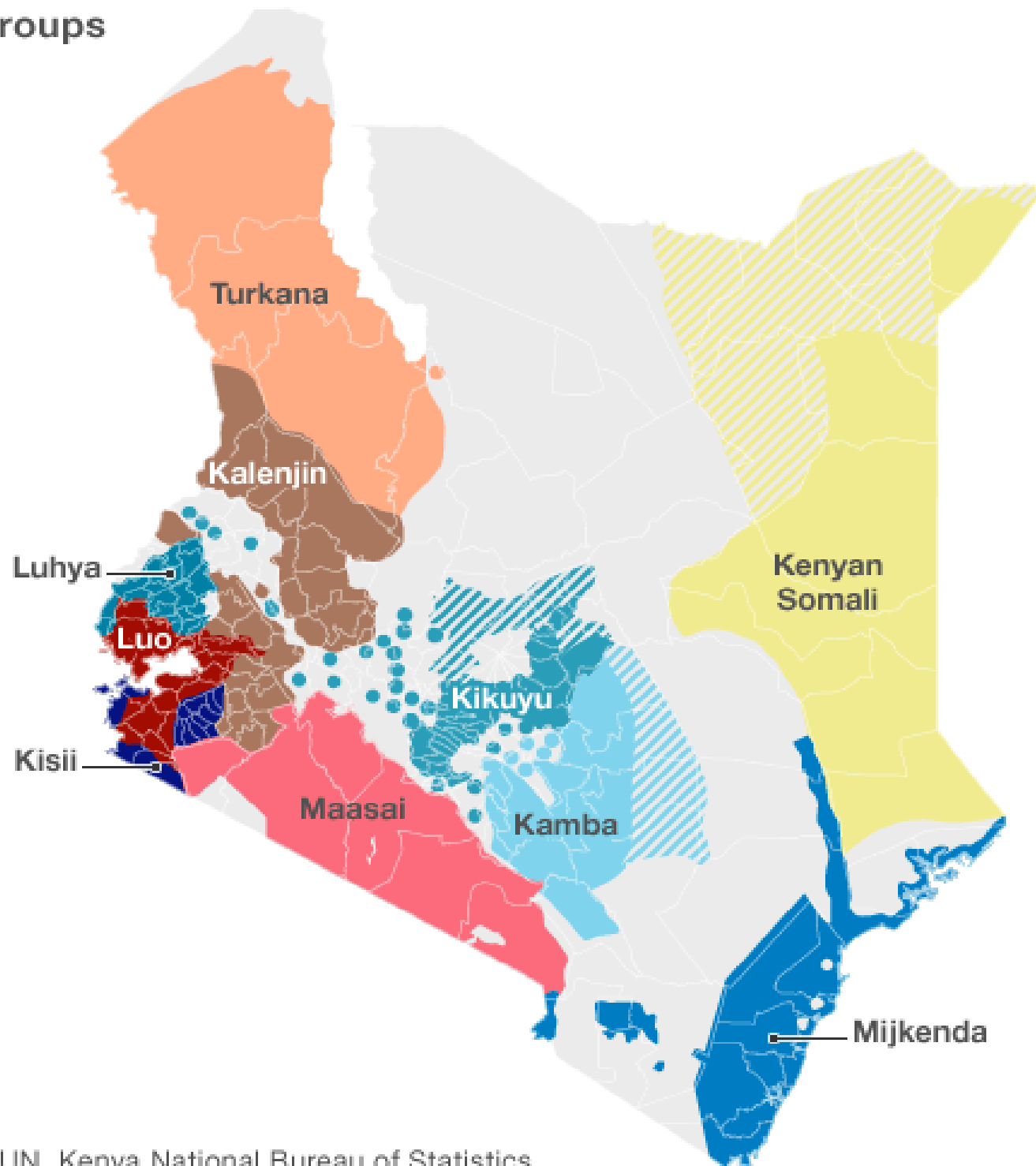
Kisii 6%

Mijikenda 5%

Turkana 3%

Maasai 2%

Others 6%



Source: Kenyan embassy to the UN, Kenya National Bureau of Statistics

憲法に基づくケニア大統領選挙後のシナリオ

- 全てが順調に進んだ場合: 8月29日(火)大統領就任式(結果が公表されてから14日後の最初の火曜日)
- 選挙に負けた側が最高裁に異議申し立てをし(結果発表から7日以内)、最高裁が異議を却下(申し立てから14日以内に判決)した場合: **9月12日(火)大統領就任式**(判決結果から7日後の最初の火曜日)
- 最高裁が異議申し立てを認めた場合: 判決後60日以内に再選挙
- どの大統領候補者も投票の過半数の票を得られなかった場合、もしくは24郡以上で25%よりも多くの票を得られなかった場合: 選挙日から30日以内に投票率1位と2位による決選投票

<前回2013年大統領選挙後の日程>

3月4日: 大統領選挙

3月9日: 結果発表

3月16日: 野党連合(CORD)による最高裁判所への申し立て

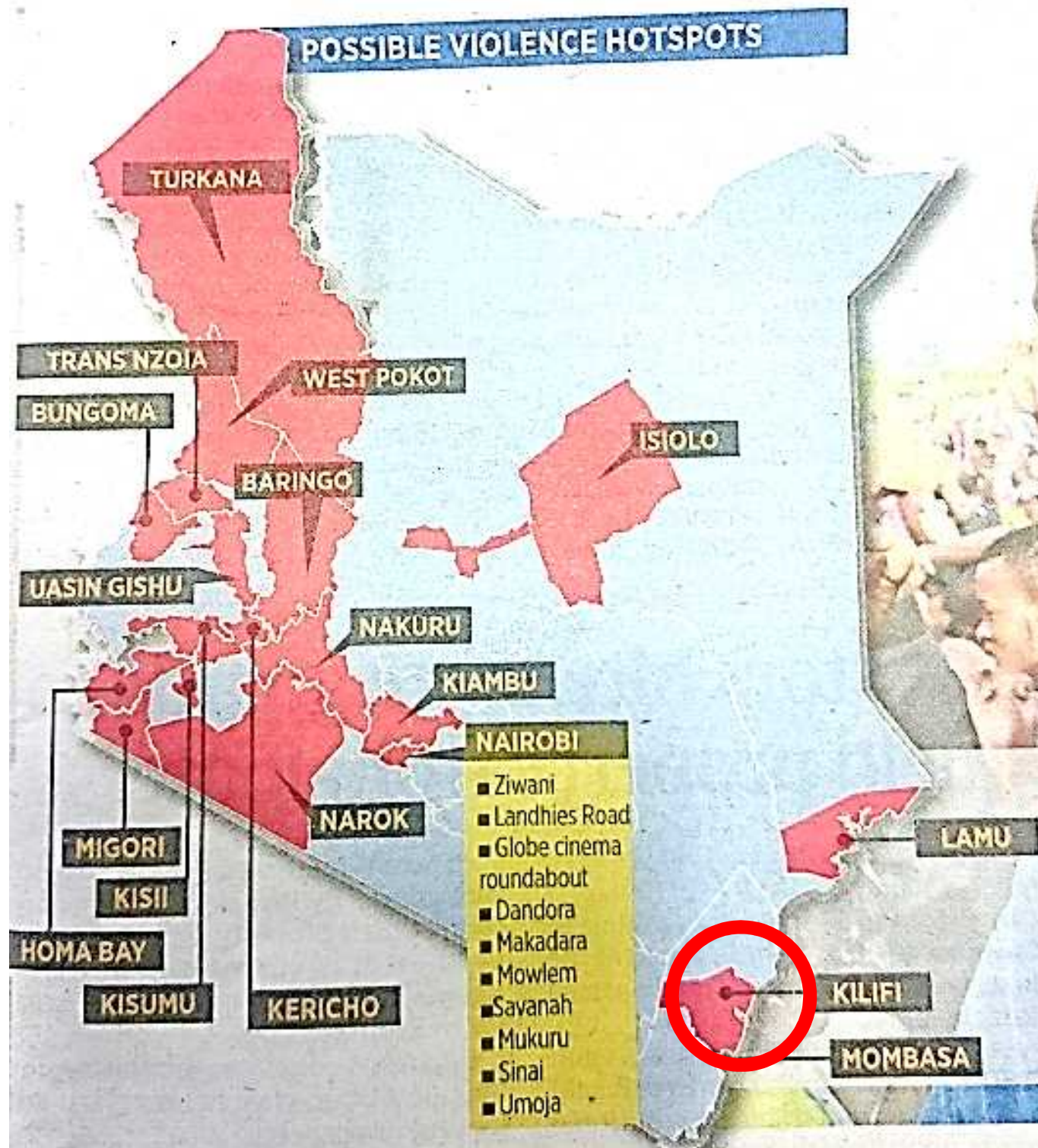
3月30日: 最高裁の判決

4月9日: 大統領就任式

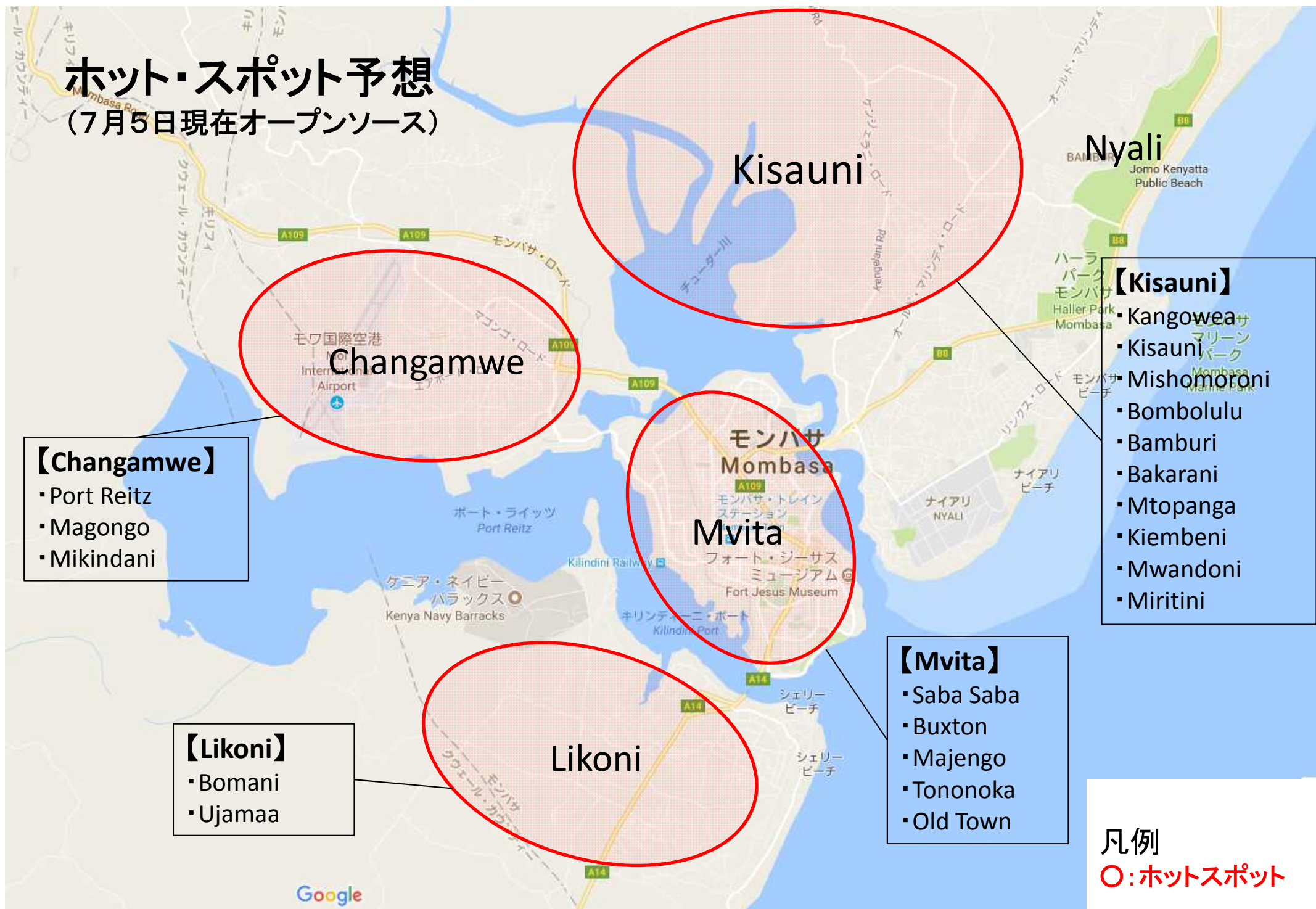
4月23日、25日、5月23日: 順次閣僚候補の発表

7月5日付
Daily Nation

【ナイロビのホット・スポット】
モンバサ・ロードから
東側の地域



ホット・スポット予想 (7月5日現在オープンソース)



モンバサにおける選挙治安情勢



(傾向)

- ・暴力を伴う混乱に発展する可能性が高い。
- ・選挙結果を巡る混乱に注意が必要。
- ・選挙の混乱に乗じた12犯罪組織による強盗等の凶悪犯罪に要警戒。
- ・選挙の混乱に乗じたアル・シャバーブによるテロ攻撃に要警戒。

・凶悪犯罪発生場所
 (2017.1~6)
 ・12犯罪組織拠点



【Mikindani】
 ・Bagdad Boys

【Kisauni】
 ・Walali Kwanza
 ・Walali Wao
 ・Wajukuu wa Bibi
 ・Watalia
 ・Jobless Corner
 ・42Brothers

【Changamwe】
 ・Watalia
 ・Spanish

【モンバサ全域】
 ・Al Shabaab
 ・MRC
 ・Pwani ni Kenya

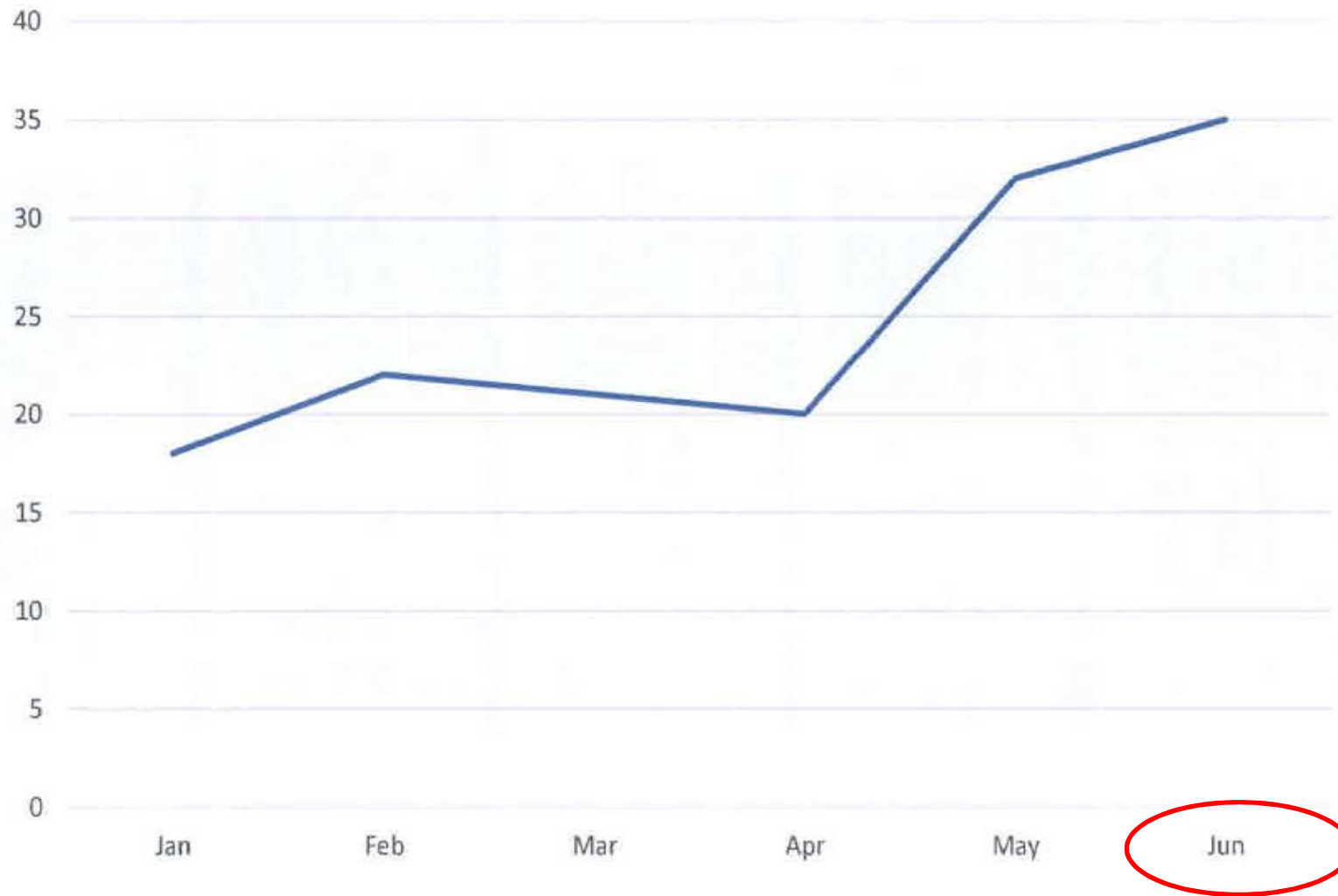
【Old Town】
 ・Walali Kwanza

【Likoni】
 ・Wajukuu wa Bibi
 ・Jobless Corner
 ・42Brothers
 ・Young Turks

KEY	
● Terrorist attack/activity	● Communal conflict
● Civil disruption	● Kidnapping
● Gang attack	● Carjack
● Criminal killing	● Robberies
● Shooting	○ Other major incident
● Bandit attack	

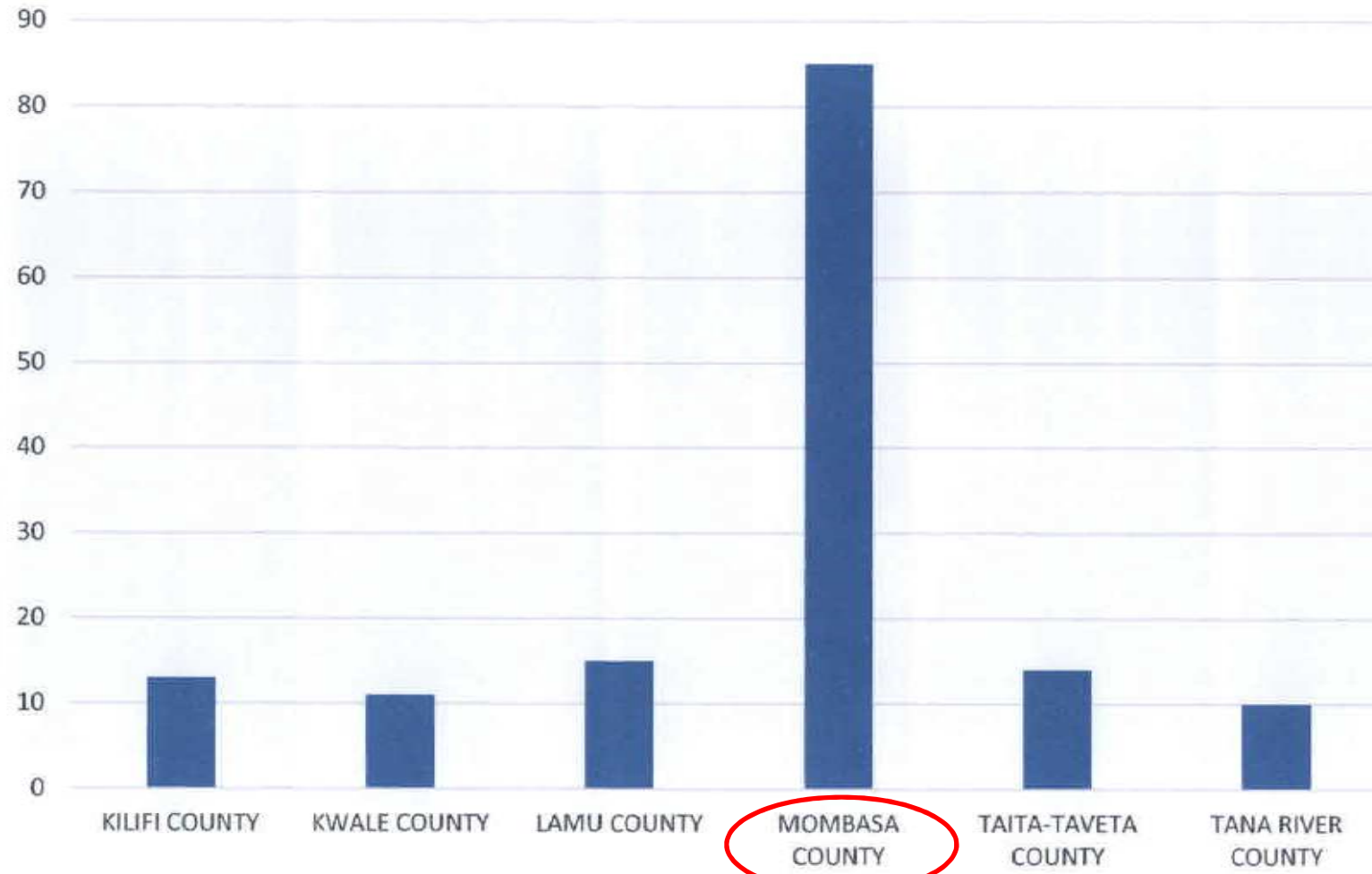
Note: Incident location not precise on map

犯罪発生状況(沿岸部・月毎)



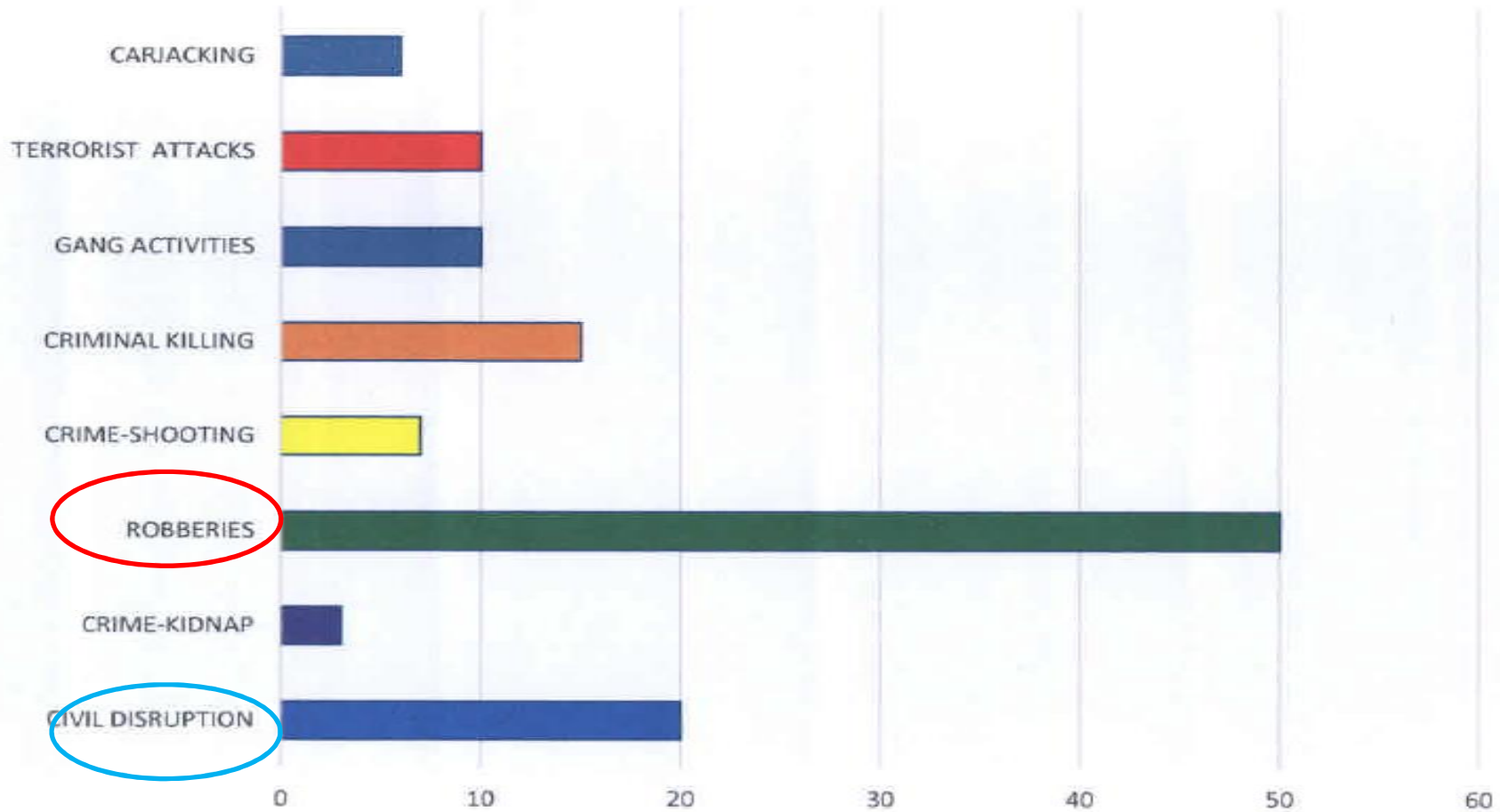
(2017年1月～6月末)

犯罪発生状況(沿岸部・各郡)



(2017年1月~6月末)

犯罪発生状況(犯罪別)



(2017年1月~6月末)

ケニア総選挙における 緊急事態発生に備えた 安全の手引き (2017年6月現在)



【ケニア総選挙】

- ・ 選挙運動期間 : 5/28 ~ 8/5
- ・ 投票日 : 8/8
- ・ 公式結果発表 : 8/15まで
- ・ 新大統領就任式 : 8/29
(9月、10月に、ずれ込む可能性あり)

在ケニア日本国大使館

住所 Mara Road, Upper Hill, Nairobi,
Kenya

電話 +254-(0)20-2898000

FAX +254-(0)20-2898220

ホームページ

<http://www.ke.emb-japan.go.jp/>

たびレジ

<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

☆ 平時に準備しておくこと

1 旅券・在留届

- 旅券は、6か月以上の残存有効期間があるか確認して下さい。(6か月以下の方は、在ケニア大使館に対して旅券切替発給を申請して下さい。)
- 旅券の最終頁の「所持人記入欄」は漏れなく記載して下さい。空欄に血液型も記入して下さい。
- 在留届出や外務省「たびレジ」登録を確実に行って下さい。緊急事態が発生した場合、緊急一斉通報によるメールなど、安全に関する情報を自動的に大使館から受け取ることができます。

2 現金、クレジットカード

- 現金、クレジットカード、その他身分証明書を旅券とともに、すぐに持ち出せるよう保管して下さい。
- 現金は、家族全員が10日間程度生活できる米ドル及びケニアシリングを準備して下さい。

3 携帯電話

- 平素から携帯電話をフル充電して下さい。
- 十分なクレジットを確保して下さい。携帯電話のスクラッチカードを余分に確保して下さい。
- 携帯電話を肌身離さず携帯して下さい。

4 自動車

- 緊急時、自動車を利用することを想定して、常にガソリンを十分に入れ、地図等を常備して下さい。
- 自動車の故障がないように、平素から点検・整備を励行して下さい。

5 備蓄

- 水・食料品(冷蔵庫で保存を要しない食料)を家族の人数×10日間分程度備蓄して下さい。
備蓄品例
 - ・ 飲料水: 1人当たり1日3リットル
 - ・ 主食: 米、パスタ、麺類等
 - ・ ノードル等インスタント食品
 - ・ 缶詰等
- トイレ、洗い物用としての水を確保して下さい。
停電になると、水が使えない場合があるので、風呂やポリ容器等に水を保管して下さい。

6 医薬・衛生品

- 必要な医薬品や生理用品等を準備して下さい。
- 乳幼児関連物資(ミルク、オムツ等)を準備して下さい。
- 毛布・寝袋等の寝具、衣料品、トイレット・ペーパー等が十分にあるか確認して下さい。

7 生活用品

- ライター、マッチ、ろうそく、懐中電灯があるか確認して下さい。
- ラジオと予備電池を準備して下さい。
- 万能ナイフ、缶切り、調理用ガスの予備ボンベ等を準備して下さい。

8 緊急事態時の持ち出し携行品

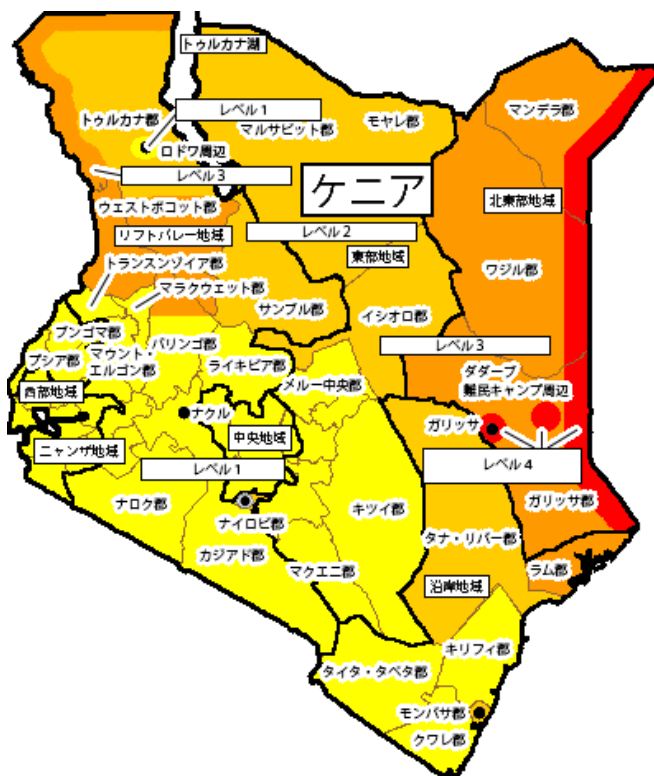
- 旅券
- 現金 ※ケニアシリングと米ドル
- クレジットカード・キャッシュカード
- その他身分証明書

☆ 基本姿勢

- 暴動が発生したら、自宅待機が基本。
- 自分の身は自分で守る。
- 新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から最新の情報を入手する。
- 大使館からの領事メール、緊急SMS、ホームページを随時チェックし、行動の指針とする。
- 有事に備えて、平時のうちから備蓄等の準備を確実にやる。
- 集会やデモが行われている場所には近付かない。
- スラムに近付かない。
- 選挙当日や、一部地域での暴動発生時は、全域で警察力が手薄になるので、強盗等の増加に警戒し、車に乗車している際もドアは確実に施錠し、自宅施錠も徹底する。
- 外出する際は、家族に行き先地を告げるとともに、徒歩での外出を極力避ける。
- スリや強盗被害を避けるため、マトツ（乗り合いバス）に乗らない。
- 選挙の混乱に乗じて、テロが発生するおそれがあることから、買い物は、混み合う時間帯を避ける。
- 不審な人物を発見した時は、速やかにその場から離れる。
- 爆発音・銃撃音を聞いたら・・・
 - ・伏せる→逃げる。
 - ・伏せる→身を隠す→逃げる
- テロ事件現場に近付かない(第2波攻撃のおそれ)。
- テロ事件発生時は、外出を避ける(同時多発テロのおそれ)。
- 大使館からの安否確認に速やかに回答する。

☆ 暴動に巻き込まれたら・・・

- 「自分の命以上に大事なものは無い」と肝に銘じ、絶対に暴徒や犯人に抵抗しない。
- 速やかに現場から離脱する。
- 犯罪被害やデモに巻き込まれ被害を受けた場合は、速やかに大使館に連絡する。



ケニア危険情報マップ

☆ 行動基準

在ケニア大使館は、邦人の皆様に対して、領事メールやホームページ等で、下記の行動基準を示します。

【レベル1：十分注意】

(情勢) 平和的なデモ・集会
(対応) 各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い情勢の把握に努める。

【レベル2：不要不急の渡航中止】

(情勢) デモ・集会等での暴力衝突が増加
(対応) 情勢の把握に努め、備蓄品を確保し、緊急時に備える。

【レベル3：渡航中止勧告】

(情勢) 暴力衝突が頻発し、与野党の大規模な衝突等が発生。
(対応) 自主的な国外退避かケニア国内の安全な地域への退避を検討。残留者は、自宅待機を検討。いつでも退避できるよう準備を進める。

【レベル4①：退避勧告】

(情勢) 市民に危害が及び、生命・身体・財産への具体的な危険が存在。
(対応) 外出を控え自宅待機。商用便等による国外退避、残留者は大使館との連絡体制を保持し、大使館及び大使公邸への避難を検討。

【レベル4②：退避勧告】

(情勢) 騒乱・内乱・クーデター等の発生及び外出禁止令が発出。
(対応) 最終残留者は国外への退避体制に移行し、大使館の退避要領等に従い退避する。

行動基準

警戒区分		想定される状況（例示）	取るべき措置
レベル1	十分注意	与野党支持者間や部族間において、平和的なデモ・集会が行われ、小競り合い程度の暴力事件が発生するものの、他地域やケニア全土に波及する可能性はない。	<ul style="list-style-type: none"> ●各家庭や職場で、新聞やテレビ等の報道から情報収集を行い、情勢の把握に努める。
レベル2	不要不急の渡航中止	与野党支持者間や部族間の暴力事件の発生が目立つようになり、ケニア全土に波及する兆しがある。	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、情勢の把握に努める。 ●10日間程度、家族全員が過ごすことができる食糧、水、医薬品、燃料等の備蓄を確保するとともに、緊急時に備えて、旅券や現金の準備、車両の整備等を行う。
レベル3	渡航中止勧告 ※在留邦人への退避勧奨	ケニア全土で、暴力衝突が頻発し、与野党支持者間や部族間の大規模な衝突等が発生する。	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、情勢の把握に努める。 ●自宅待機を検討し、いつでも退避できるよう準備を進める。 ●国内の安全な地域や国外への自主的な退避を検討する。家族のみでも退避させることを検討する。 ●残留者は、大使館や関係者に対して所在を明確にし、連絡体制を保持する。

行動基準

警戒区分	想定される状況（例示）	取るべき措置
<p>レベル4 ①</p> <p>退避勧告 ※在留邦人の 退避勧告</p>	<p>与野党支持者間や部族間の衝突が暴動へと発展し、恒常的に市民に危害が及び、生命、身体及び財産への具体的な危険が存在する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●外出を控え、自宅待機するとともに、事態の把握に努め、状況に応じて直ちに退避できる体制を整える。 ●治安が極度に悪化してきた場合は、予め指定した集結地（大使館・公邸等）へ避難し、身の安全を図るとともに、退避に移行できる体制をとる。 その際、緊急事態の持ち出し携行品（旅券、現金、クレジットガード及びその他の身分証明書等）、出国に必要な物、食糧、水、医薬品、燃料等、当面の生活に必要な物も携行する。 ●退避が必要と判断された場合は、在留邦人は予め地域ごとに指定した集結地（大使館・公邸等）に集合し、車列を組み（警察の護衛のもと）、陸路で国外に退避する。商用便が運行されていれば、空路での脱出も視野に入れる。 ●最終残留者は、大使館や関係者に対して、所在を明確にし、連絡体制を保持する。
<p>レベル4 ②</p> <p>退避勧告 ※残留邦人・残留館員の退避</p>	<p>騒乱、内乱、クーデター等の発生及び外出禁止令、厳戒令等が発出され、行動規制が敷かれる。死傷者が続出する事態に陥る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●最終残留者は、国外への退避体制に移り、退避要領に従い、退避を開始する。 ●退避が不可能な場合を想定し、大使館・公邸等における立てこもりを視野にいれた準備を行う。